

平成 14 年度事業計画

基本方針

本年 4 月より、学校完全週 5 日制のもと、新しい学習指導要領に基づく教育課程が実施され、修学旅行を取り巻く教育的・社会的環境も大きく変化しようとしている。学校教育における修学旅行の役割や位置付け、さらに「総合的な学習の時間」と修学旅行の関わり、景気低迷による旅行費用への影響など新たな課題が提議されている。

平成 14 年度、関修委は永年に亘る委員会活動の伝統と実績を踏まえ、関東地区公立中学校全校が実施する修学旅行の改善向上を目指すと共に、新たな課題の解決に積極的に取り組む必要がある。

については、関修委活動をより前進させるべく、関修委組織及び事業全般の見直し・新しい取組みを全設置校の理解と協力のもとに推進することとする。

[重点推進事項]

連合体輸送の充実・発展
研究活動の充実・推進

1. 連合体輸送の充実・発展

(1) 平成 14 年度計画輸送の実施

学校数	800 校
輸送人員	126,083 人
運転期間	関西方面 4 月 17 日～7 月 8 日(83 日間) 東北方面 9 月 10 日～9 月 17 日(8 日間)
出発式	4 月 17 日(水)

(2) 平成 16 年度連合体輸送計画の作成について(割付の手順)

6 月 7 日 輸送計画の大綱決定(第 1 回運営協議会)

7 月 17 日まで 各学校から各県委員長へ関修委連合体への申込み

8 月 6 日 各県委員長より関修委事務局へ提出

8 月下旬 割付作業 千葉 埼玉 茨木・群馬・栃木 の順

～10 月上旬 (各ブロック 2 週間間隔で割付作業をおこない 10 月上旬完了予定)

10 月 17 日(木) 調整、最終案の決定

11 月 29 日(金) 正式発表

JR 輸送申込書の提出期日は平成 15 年 2 月 6 日(水)を予定

正式決定(発表)後の期日の変更は各県の修学旅行委員長に申し出て協議する。原則として各県内での交換調整が可能な場合には変更を認める。

別紙、申し込み要項、申込書を参照のこと

(3) 継走臨列車の改善と割引要請

継走列車の改善と特急料金の割引の適用について J R と交渉を行う。

【資料】

2. 研究活動の充実・推進

(1) 第38回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会

「みんなで創ろう21世紀の修学旅行」

主催 関東地区公立中学校修学旅行委員会
財団法人 全国修学旅行研究協会

実施担当 埼玉県修学旅行対策部会

期日 平成14年11月15日(金)

会場 さいたま市民会館おおみや 048-641-6131
〒330-0844 さいたま市下町3-47-8

研究発表校

神泉村立神泉中学校

「自ら学び自ら考える力の育成を目指す修学旅行」

校長 木村 秀夫

発表者 渡辺 勝則 教諭 関口 陽子 教諭

飯能市立南高麗中学校

「総合的な学習の時間の視点から見た修学旅行」

校長 梅津 稔

発表者 梅津 稔

第39回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会

平成15年度は栃木県にて開催。栃木県修学旅行委員会は、研究発表校を今年度に委嘱し2カ年にわたり研究をおこなう取り組みを進める。

(2) 平成14年度の研究調査活動について

[研究委員会]

調査内容の検討

データの分析

分析、研究結果の発表

修学旅行実施状況調査（各県全設置校参加の調査）

・用紙配布 平成14年6月中旬

・各学校は回答用紙を専用列車申込書の提出とあわせて各県修旅委員長（部長）に提出

・各県修旅委員長（部長）は関修委事務局へ8月20日までに提出

・調査内容(フォームは後日提案 専門委員会で検討(体験学習実施状況 / 班別自主研修等)

新しい教育の中での修学旅行の変化の調査

・用紙配布 平成14年9月中旬を予定

[編集委員会]

修学旅行参考資料 「関西の旅」・「京都乗物散策ガイド」

「修学旅行のしおり」の研究

目的 : 修学旅行全体及び体験学習などの実施事例を分析し、これからの修学旅行のありかたをまとめる。

収集のルート : 学校 各県委員長（部長） 全修協

3. 情報連絡ネットの構築

(1) 関修委特設ページを開設（全修協ホームページ・修学旅行ドットコムに特設）

<http://shugakuryoko.com> 内

(2) 組織内の情報連絡は、平成14年度は郵便等の従前方式とインターネットの併用とする。

関修委地域内の学校Eメールアドレスを事務局で集約する。

通信連絡手段として、郵便・電話・FAX、関修委特設ホームページ、Eメールを併用。

4.平成14年度 活動日程

[総 会]

平成14年6月7日(金)

[研究協議会]

会 議	会 議 の 内 容	月 日	曜	開始時刻	会場地
第1回	事業計画大綱決定 (総会と兼ねる)	6 / 7	金	14 : 00	千葉
第2回	輸送計画の調整	9 / 20	金		東京
第3回	輸送計画の決定	10 / 17	木		東京
第4回	年間事業活動の反省と新年度対策	2 / 21	金		東京

[専門委員会]

(1) 研究委員会

会 議	会 議 の 内 容	月 日	曜	開始時刻	会場地
第1回	調査方針等検討	6/7	金	11 : 30	
第2回	データ分析・研究考察	10月・11月			

(2) 編集委員会

会 議	会 議 の 内 容	月 日	曜	開始時刻	会場地
第1回	監修他の方針等検討	6/7	金	11 : 30	
第2回	研究・考察	10月・11月			

5.平成14年度事業予算について

平成14年度事業予算

勘定科目	予算額(円)	摘 要
会議費	1,300,000	会場費、会議出席者交通費・宿泊代、資料作成費、備品代、飲食代、打合せ雑費(総会、研究協議会、研究発表会、専門委員会、役員会)
旅費交通費	50,000	交通費、宿泊代
通信運搬費	50,000	郵便料金、宅急便料、切手、通信・通話料
印刷製本費	300,000	案内状、報告書、調査、アンケート等
諸謝金	0	講師料
各県修学旅行委員会助成費	948,500	茨城県 234 校 167,000 円 群馬県 176 校 38,000 円 栃木県 179 校 139,500 円 埼玉県 423 校 261,500 円 千葉県 385 校 242,500 円
支出合計	2,648,500	

6. その他

(1) 関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会総会 三地区修旅連 代表者連絡会

期 日 6月26日(水)

会 場 東京:アルカディア市ヶ谷(私学会館)

出席者 各修学旅行委員会より代表者2名の出席とする。

(2) 第19回全国修学旅行研究大会

「みんなで創ろう21世紀の修学旅行」

主 催 関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会
財団法人全国修学旅行研究協会

実施担当 東海三県中学校修学旅行委員会

期 日 平成14年11月22日(木)

会 場 名古屋市:名古屋ルブラ王山

(3) 全修協ホームページコンクールの開催

作品募集期間 平成14年9月1日~11月30日